加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 抗体硝子体内投与の治療成績に関する研究

１．研究の対象

2009 年 3 月 13 日以降に、当院で加齢黄斑変性と診断され、抗 VEGF 抗体硝子体内投与を受けられた方。

２．研究目的・方法

本治療方法の有効性・安全性や予後因子を明らかにすることを目的としています。
研究期間は、2016 年 11 月 14 日～2021 年 3 月 31 日です。

３．研究に用いる試料・情報の種類

試料：該当なし
情報：カルテ番号、性別、生年月日、病歴、視力、網膜形態、治療回数、再発の頻度、副作用　等

４．利益相反

研究するために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反といいます。

本教室は抗VEGF抗体薬（Ranibizumab）の販売元ノバルティス株式会社のグループ企業である日本アルコン株式会社と抗VEGF抗体薬（Aflibercept）の販売元である参天製薬株式会社、他、Pfizer株式会社、HOYA株式会社より、奨学寄附金の受入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。また結果の発表時には事実関係を明示する事となっています。なお、Pfizer株式会社、HOYA株式会社は、本研究課題に直接関係は無い企業です。

本研究課題を実施する研究者には公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金より、研究助成金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。

５．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川崎医科大学附属病院　岡山県倉敷市松島 577　TEL：086-462-1111（内線 44321）

研究責任者：所属　眼科学１　　職名　講師　　氏名　鎌尾浩行

E-mail：hironeri@med.kawasaki-m.ac.jp

----------**以上**